

## 古閑みゆき (Vo)



同志社大学文学部英文学科在学中、軽音楽部で活動。ニューヨーク留学の後、1991年にハンク・ジョーンズ(ト)トリオ&スコット・ハミルトン(s)との共演でアルバム・デビュー。その後もコンスタントにアルバム作品をリリースし、近年は米国「コンコード・レーベル」からアルバムが世界発売されている。最新作「シネマ・ジャズ」(99年7月発売)はウディ・アレンの映画の音楽監督などで著名なディック・ハイマン(p)、ハワード・アルデル(g)、「What's New」の作曲者ボブ・ハガート(b)、グラディ・テイ(ds)、ジョン・ファディ&(p)、ケン・ペブロウスキー(c)という豪華ミュージシャンとの共演作。米国「コンコード・ジャズ・フェスティバル」3度出演、他にもラスベガスやサンフランシスコなど、アメリカでの公演もたびたび行っている。

また、2000年から米国コンコード市・サンノゼ市・カナダのトロント市の4ヶ所で行われている「富士通コンコード・ジャズ・フェスティバル U.S.A」の日本側代理人としてコーディネイトも手がけることになり、より幅広くグローバルに活躍している。

## 近藤ちづる (Vo)

新居浜市出身、16歳から声楽のレッスンを受け始め音大へ進学。二期会オーディションに合格。在学中に聴いたカーメン・マクレイに魅せられ、ジャズボーカルとして活動を始める。主な共演者は、クラリネットの北村英治氏、故中村八大氏、ダークダックス、デュークエイセス等多数。また、ソロボーカリストとして、様々なコンサートやイベントに参加。その活動は、「月刊文芸春秋」に掲載されたこともある。'92、作詞家の橋本淳氏との出会いにより、活動の幅を広げる。'93、BMGピクチャーからメジャーデビュー。'94、NHK・BSチャンネルを始め多数の企業にイメージソングとして、またテレビ番組のテーマソングとして起用される。レギュラーパーソナリティとして、FM愛媛では5年間、FM愛知では1年間番組を担当。数回の公開録音ではライブを行い、好評を得た。現在は、プロデビューを目指す人達の養成や、オリジナル曲の提供、その他音楽療法やカウンセリングに興味を持ち、心理学を学んでいる。今後の展望としては、数年控えていたライブ活動を再開し、CD制作を進める事や、プロデュース等も手掛けていきたいと考えている。安定した歌唱力と洗練されたステージは、今なおファンからの要望が多く寄せられている。



## 長野幸雄 (P)

1962年 今治西高校卒業。1968年 大阪市立大学卒業、在学中より音楽の道を志す。京都、大阪など主に関西で活躍。上京後、スマイリー小原とスカイライナーズ、浅原哲夫トリオを経て自己のトリオを結成。全国を演奏して回る。その間に、渡辺貞夫氏、ジャズピアニストの徳山陽氏に師事。また、クラシック音楽のレッスンも受ける。ニューオータニ等のホテル、クラブ、ライブハウス等で演奏後、現在は東京銀座8丁目のクラブ、SHOWGIRLの専属ピアニストとして活躍中。1999年8月16日、湯ノ浦ケーオーホテルで、同級生40名を招待して今治で第一回目のジャズピアノコンサートを開く。

